

被災屋根用 棟養生シート

らく棟シート

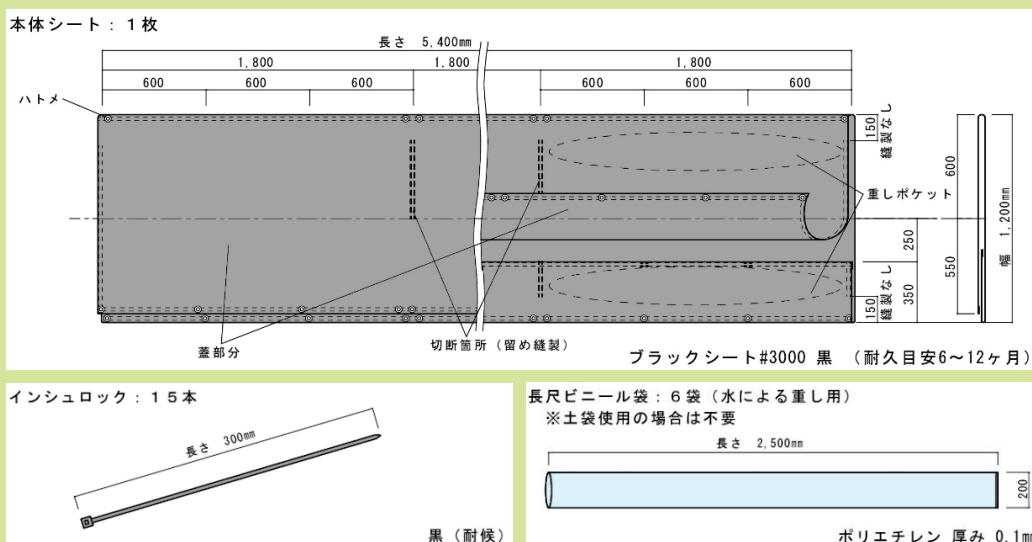


らく棟シート(土袋)使用例



らく棟シート(水袋)使用例

商品内容



らくらく7ポイント

1. 棟養生専用の1.2m幅・長さ5.4m
2. 長さは1.8m毎に切断可能
3. 重しポケット付で重しの固定が不要
4. 同梱の長尺ビニール袋で水袋による重しも可能
5. 材質#3000ブラックシート2重構造で高耐久
6. わずらわしい土袋劣化の再養生を防止
7. スッキリ見た目の安心感

らく棟シート

スッキリ見た目!



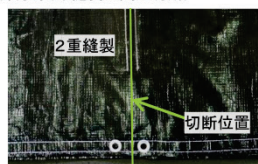
従来の棟養生



施工方法

土袋 ※別途土裏 18 枚必要(5.4m、600 ミリピッチ)

①地上で本体シートを必要長さに応じ切断してください。(1,800 ミリピッチで2重縫製部分あり、縫製の間で切断)



②土袋にガラ等を入れ重しを準備してください。(両サイド 600 ミリピッチ分・6～8 kg/袋が目安)



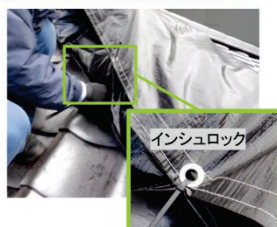
③本体シートを養生する場所に被せてください。



④シートの両サイドの重しポケットに土袋を入れます。



⑤蓋部分をかぶせ、蓋部分と端部のハトメをインシュロックで固定してください。



⑥完成



水袋

①地上で本体シートを必要長さに応じ切断してください。(1,800 ミリピッチで2重縫製部分あり、縫製の間で切断)

本体シートの両サイドの重しポケットに長尺ビニール袋を入れてください。この時、ビニール袋の端を出しておいてください。



②本体シートを養生する場所に被せてください。

(隅棟の場合はビニール袋の端が水上側になるように被せてください。)

屋根上にホースを伸ばし、ビニール袋の中に水を入れてください。片荷重にならないように交互に入れ、本体シートのポケット内のみ注水(約 10 ミリ/m)してください。(縛る部分を残す。)



③両サイドのビニール袋の端をシート中央部(水の入っているところよりも高い位置)で縛ってください。(低いところで縛ると水漏れします。)



④本体シートのふた部分と端部のハトメをインシュロックで固定してください。



らく棟シート (土袋) 使用例



らく棟シート (水袋) 使用例



製造元・販売



株式会社 鶴弥

本社 〒475-8528 愛知県半田市市の崎町2番地12

営業部 TEL.0569-29-4999 FAX.0569-29-1403

ホームページ

www.try110.com

特約店